

◆講座名	中央銀行を考える
◆開催日（回数）	2022年10月1日、10月22日、11月5日（各2回・全6回）
◆曜日	土曜日
◆時間	11:00-12:30、14:00-15:30
◆会場（キャンパス）	青山キャンパス
◆定員	50名

◆講座内容

経済の持続的発展にとって中央銀行は不可欠の制度であるが、グローバル化の進展、テクノロジーの発達とともに、中央銀行のあり方も様々な点で見直しを迫られてきている。授業では民主主義社会の中で中央銀行が果たすべき役割や直面している課題について講義する。

◆受講対象者

受講条件として、以下のいずれか一つは満たしていること。ただし、条件を満たしていない場合でも、個別に相談の上、受講を許可することもあるので、お申し込み前に必ず事務局までご相談ください。

- ・大学でマクロ経済学や金融論の授業を履修
- ・金融機関で3年以上勤務
- ・政府や地方公共団体、中央銀行で3年以上勤務
- ・事業会社の経営企画部門(ないし、それに準じる部門)で3年以上勤務
- ・マスコミで経済ニュースを3年以上カバー
- ・大学やシンクタンクで経済関係の仕事に3年以上従事

◆受講に際しての注意事項など

- ・最少催行人数を設けております。最少催行人数に達しなかった場合には、講座を中止させていただく場合がございます。
- ・講座の録音・録画・写真撮影は、ご遠慮ください。
- ・講義中は、携帯電話の電源を切るかマナーモードに設定してください。教室内での通話はご遠慮ください。

◆講座スケジュール

回	日程	内容
1	10月1日 (1)	中央銀行はデジタル通貨を発行すべきか？
2	10月1日 (2)	2%物価目標をどう理解すべきか？
3	10月22日 (1)	金融危機をどのようにして防ぐか？
4	10月22日 (2)	通貨や金融の安定を図るために政府は何をすべきか？
5	11月5日 (1)	グローバルな金融安定はどのようにして図られているか？
6	11月5日 (2)	中央銀行という組織をどのように設計し、運営すべきか？

◆補講日

11月12日

◆講師紹介

白川 方明 1949年生まれ。72年東京大学経済学部卒業。同年、日本銀行入行。シカゴ大学留学（75～77年）。2002年、理事。06年、京都大学公共政策大学院教授。08年3月、日本銀行副総裁、4月総裁就任。13年3月退任。BIS理事会副議長（11年1月～13年3月）。13年9月から青山学院大学国際政治経済学部特任教授。18年9月から青山学院大学特別招聘教授。